

## 産業廃棄物の目標の達成状況

・平成27年度における目標値と平成26年度速報値の比較を表1-3-1に示す。

表 1-3-1 目標の達成状況

	H22年度(実績)	H27年度(目標)	H26年度(速報)
排出量	1,450万t	1,565万t	1,483万t
再生利用率	32%	35%	33%
最終処分量	47万t	49万t	37万t

・平成27年度における目標設定の考え方と平成26年度速報値の状況について表1-3-2に示す。

表 1-3-2 目標設定の考え方と平成26年度の速報値の状況

分野		H22年度 (実績)	H27年度 (目標)	H26年度 (速報)	主な要因	
発生抑制	製造業	排出量231万t	排出量252万t (排出抑制率2% ※1)	排出量242万t	—	
	その他の業種 (上下水道を除く)	排出量429万t	排出量478万t (排出抑制率1% ※2)	排出量431万t	—	
再生利用	建設汚泥の再生利用率	再生利用率70%	再生利用率82%	再生利用率53%	・排出された時点の汚泥は水分を多く含む。排出量が水分量の影響を受け変動し、再生利用率は見かけ上減少している。	
	建設混合 廃棄物	排出量 削減比率	— (排出量20万t)	H22年度比6%減 (排出量18.8万t)	H22年度比20%増 (排出量24万t)	・混合廃棄物の排出量は増加しており、工事現場における分別の取り組みは進まなかった。 ・一方、中間処理施設における中間処理後の再生利用が進んだことにより再生利用率は向上した。
		再生利用率	再生利用率40%	再生利用率55%	再生利用率72%	
	建設発生木材の 再生利用率	再生利用率85%	再生利用率95%	再生利用率97%	・燃料等としての再生利用が増加	
	製造業の再生利用率	再生利用率37%	再生利用率44%	再生利用率46%	・再生利用しやすい金属くずの排出量が平成22年度から平成26年度にかけて増加したこと等により向上	

※1：製造品出荷額の将来推計を用いて、平成23年度に平成27年度の排出量を単純推計した値は約257万t。事業者による発生抑制の取り組みの進展により排出量を2%（約5万t）削減する目標を立てた。

※2：建設業の元請完成工事高や各業種の従業員数の将来推計等を用いて、平成23年度に平成27年度の排出量を単純推計した値は約483万t。事業者による発生抑制の取り組みの進展により排出量を1%（約5万t）削減する目標を立てた。

## &lt;定義&gt;

排出抑制率＝平成27年度単純推計に対する排出量の削減率

再生利用率＝（再生利用量）／（排出量）×100

排出量：事業場、建設現場等で発生した産業廃棄物の量（脱水、焼却、再生等の産業廃棄物処理をする前の量）